



市民の安心と安全を守る消防団

の改善、機能別消防団の補充などを検討し、防災力の向上に努めていきたいと考えます。

**Q** 市の一般消防団員の報酬は年額1万8600円(条例単価)だが、国からの交付税単価は3万6500円である。国も、条例単価が交付税単価より低い場合には引き上げの検討をするようにとの通知を出している。団員報酬を、少なくとも交付税単価に引き上げ

るべきではないか。

**A** 市長 交付税算入がすべて団員報酬に直結するということではないと思います。消防団員の待遇見直しの意見は率直に受けとめます。少し調査をさせていただきたいと思えます。

●自主防災組織の充実・育成を

**Q** 市でも、実施計画の中で、自主防災組織の育成を掲げているが、組織化の現状と今後の育

成計画について、また、既存の自主防災組織の多くが形骸化しているとの指摘もあるが、市としてどのような対策を講じているのか。

**A** 総務部長 自主防災組織は8月1日現在で、成東地域に20、蓮沼地域に14、松尾地域に5の合計39の地区で組織されています。

また、自主防災組織の現状と課題について、7月に市内自主防災組織を対象にアンケートを実施しました。31の組織から回答があり、実際に活動していると回答した組織は8組織で他の23組織は活動していないという結果でした。活動していない理由(複数回答)は、「活動方法がわからない」が10、「活動資金がない」が6、「会員が協力的でない」が2、「自主防災組織が設置されていない」が15組織という結果でした。未活動組織の活性化や未組織地域での自主防災組織の組織化は、地域防

災力を高めていく上での緊急の課題です。講習会や説明会などをして、地域防災のリーダーを育成していきたい。年間5万円までの活動費を支援するようにしました。

また、「防災士」の資格取得のための受講費を支援する制度も作っていきたいと考えます。

**Q** 台地部には自主防災組織はほとんどないので、市の積極的な働きかけが必要ではないか。

**A** 総務部長 今後、積極的に働きかけていく考えです。

一般質問の内容は、各議員から提出された原稿をそのまま掲載しました。

※詳しくは、図書館又はインターネットで会議録が検索・閲覧できます。(発行は後日)

## 議会インターネット中継

山武市議会では、より多くの皆様に議会の活動を知っていただき、これまで以上に市議会が身近なものとなるように、本議会のインターネットによるライブ中継と録画配信を行っています。

山武市議会のホームページから、平成22年第1回定例会(3月定例会)の様子からご覧になれます。

〈視聴方法〉

山武市ホームページ (<http://www.city.sammu.lg.jp/>)

→市議会 (<http://www.city.sammu.lg.jp/site/shigikai/>)



## 山武市議会会議録

SAMMU CITY ASSEMBLY MINUTES

山武市議会のホームページから、議会会議録の検索ができるようになりました。

平成18年山武市議会第1回臨時会以降の本会議(定例会・臨時会)の会議録について、発言者・キーワードなどで検索・閲覧が可能です。